

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
人間文化学部発達教育学科	木村 直人	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

(前期) 生徒指導と進路指導(小中高) | 学部 | 学科

社会科教育法(初等) | 学部 | 学科

社会教育論 | 学部 | 学科

教育実習事前事後指導(中高) | 学部 | 学科

インターンシップA | 学部 | 学科

(後期) 教職実践演習(小中高) | 学部 | 学科

教職実践演習(商) | 学部 | 学科

生徒指導と進路指導(商) | 学部 | 学科

現代社会の諸問題B 2学部4学科

その他

他大学(前期) 教職概論 | 学部 | 学科

主権者教育アドバイザーとして、要請に応じて、小・中・高・大・成人を対象とする出前講座

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

予測困難なこれからの時代を生き抜いていくために必要な教養や資質・能力は何か、自ら考え判断して、主体的に学んで身に付けてほしい。特に教員を目指す学生には、自らが主体的・対話的で深い学びができるようになってもらいたい。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

知識伝達型の一方的講義ではなく、学生との対話、学生の学習活動と発表(社会教育施設訪問及びその報告、指導案作成及び模擬授業実施)、学外・教室外授業(博物館、美術館、図書館、大学祭等へのイベント参加等)、ゲストスピーカー(選挙、税金、年金、消費、環境、男女共同参画、人権等)の講話と質疑・意見交換等を実施している。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

ただ担当者の講義を聴いているだけではなく、ゲストスピーカーの講話を聴いた後意見交換したり、学外・教室外に出たり、イベントに参加したり、各自で調査・発表したりする等様々な学習活動に対して、初めのうちは億劫そうな感じであったが、毎回提出させているリフレクションから、講義だけでは得られない体験を通して、関心を持つ学生が少しずつ増えていったことが確認できた。。

【目標】(今後どうするか)

学生が自らの生活の中から課題を発見し、その解決のために必要な正しい情報を収集し、それに基づいて思考判断し、行動する力を身に付けることができるよう一層推進していく。